

## 東京都内における薬物乱用状況

### 薬物汚染の現状

未成年者の検挙人員は数字的には減少傾向にありますが、インターネットの普及等により潜在化していることが考えられ、若年層の薬物事犯は依然として深刻な状況です。薬物売買が繁華街を避け、住宅街での密売やインターネット上の売買などに移りつつあり、一般市民の身近なところで行われています。

### 最近の事例

危険ドラッグ店で、麻薬成分を含むハーブを販売目的で所持していた経営者が逮捕された。

インターネットの交流サイトや掲示板を通じ、覚醒剤を密売した者が逮捕された。

池袋駅前の歩道を自動車が暴走し、1人が死亡、7人が負傷した。自動車の運転手を逮捕したところ、危険ドラッグを吸引して運転したと供述した。

## 2 薬物乱用とは

薬物乱用とは、医薬品を医療目的から逸脱して使用すること、あるいは医療目的のない薬を快感を得る等の目的で不正に使用することをいい、1回だけの使用でも乱用になります。また、麻薬、覚醒剤、大麻は、使用はもとより所持するだけでも「犯罪」になります。

### 乱用される主な薬物

薬物の中でも、中枢神経系に影響を及ぼし、依存性（何度も繰り返して使用したくななる性質）のある薬物が乱用されています。



MDMAだけではなく数種類の薬物が配合された物もあり、多くの事故例（死亡事故も含む）が報告されています。

マジックマッシュルーム（麻薬原料植物）



大麻草から作られる物で、たばこのように細かく刻んだものや、樹脂を固めたものがあります。



注射、あぶり（覚醒剤を加熱気化し吸入する）、内服（錠剤）など、いろいろな使い方をされますが、どれも危険性は変わりません。

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| <b>シンナー</b><br> | <b>危険ドラッグ</b><br> |
|-----------------|-------------------|

有機溶剤（トルエン、シンナー、接着剤など）を使用すると酩酊感や興奮が起ります。長期的な摂取は脳を侵し、障害を一生残します。

「脱法ハーブ」、「合法ドラッグ」などと称して販売され、あたかも身体影響がなく、安全であるかのように誤解されていますが、死亡例もあり、大変危険で違法なドラッグです。

## 3 忍びよる巧みな手口

薬物乱用への誘惑は、至るところに存在しています。

覚醒剤を乱用した青少年にその動機を聞くと、「ダイエットに効果がある。」という誤った知識を持ったことや、仲間から「気持ちがいい。」「ハイな気分になれる。」「嫌なことが忘れる。」などと教えられたことを理由に挙げています。安易な気持ちから乱用していることが分かります。

また、覚醒剤は「S」「スピード」「アイス」「やせ薬」、大麻は「ハッパ」「チョコ」「ガンジャ」、合成麻薬MDMAは「エクスタシー」「パツ」「X」などと俗称で呼ばれ、危険ドラッグは「合法」などと標榜され、安全と思われがちのため、薬物に対する罪悪感が希薄になっています。

### 薬物乱用の動機



薬物乱用への誘惑は心のすきまに入ります。  
「正しい知識」、「断る勇気」が必要です。

## 4 薬物乱用は、心も体もボロボロにしてしまいます

青少年期は精神的・身体的に発達の途上にあり、そのような大切な時期に薬物を乱用すると、健全な心と体の成長が妨げられます。さらに、非行や暴力、犯罪などを起こすようになります。

**薬物乱用は、あなただけの問題では済みません。**

### 薬物を乱用すると、

乱用される危険のある薬物は、脳に作用し、“こころ”つまり精神に影響を与えます。中枢神経を興奮させたり、抑制したりして、幸福な気分やそう快感、お酒に酔ったような感じ、不安が消えていく感じ、知覚の変化、実際にはないものが見えたり聞こえたりする幻覚（幻視・幻聴）などをもたらします。

一度でも乱用すれば、すぐにでもその“とりこ”となってしまう危険性があります。これらの薬物は、何度も繰り返し使用したくなる“依存性”と、使用を繰り返していくうちにそれまでの量では効かなくなる“耐性”という性質があり、「1回だけ」と思って始めた人もどんどん使用量や回数が増えていき、どうしようもない悪循環にはまってしまいます。

また、薬物が切れた時には、不安やイライラ、疲労感などの恐ろしい症状が待っているのです。



薬物の乱用による害は生涯続きます。薬物の乱用をやめ、治療によって普通の生活に戻ったように感じても、心理的ストレス、睡眠不足、飲酒、他の薬物の乱用などがきっかけとなって、突然、幻覚・妄想などの精神異常が再発することがあります（この現象を『フラッシュバック（再燃現象）』といいます。）。

**薬物乱用は本当に危険で、有害なのです。**

## 5 薬物乱用に関するQ&A

### Q1 覚醒剤はダイエットに効くんでしょ？

A1 全くの誤解です。それは、薬物を売ってお金を儲けようとしている人があなたをだましているのです。たしかに食欲は減退しますが、体がボロボロになりやつれてしまうだけです。



### Q2 大麻だったら、大した害はないって聞いたけど？

A2 有害です。大麻を吸うと、感覚が異常になって興奮状態となり、幻覚や妄想が現れて、精神異常を引きします。また、何もやる気のない状態（無動機症候群）になることがあります。



### Q3 「危険ドラッグ」は、麻薬や覚醒剤と比べて安全なのでしょ？

A3 亂用者の間では「脱法ハーブ」、「合法ドラッグ」とも呼ばれていますが、麻薬や覚醒剤と同様に大変危険な薬物です。これらの製品は、犯罪に悪用されたり、乱用による死亡事故も発生しています。決して摂取又は使用しないでください。



危険ドラッグ



### Q4 1回や2回なら、やめられるんでしょ？

A4 1度使うとやみつきになります。「1回くらいなら」という気持ちがあなたの一生を台無しにします。

### Q5 薬物乱用のきっかけが、身边にあるって本当？

A5 薬物乱用への誘惑は、至る所に存在します。友人・知人から誘われたり、海外旅行先で開放感から手を出してしまったり…。最近では、インターネット、携帯電話等を利用して知り合った相手から入手したケースもあります。魔の手は、手を代え、品を代え、突然あなたを襲ってきます。勇気を持って断ることが大切です。



## 保護者の皆様へ

### 『うちの子に限って…』は危険です！

薬物の乱用が中高生の間でひそかに広まっています。「うちの子にも有りうる…」と思って、もう一度、家族の在り方や子供の様子を見直してください。

#### ●子供たちは、薬物乱用を始める前や初期には、警告となるサインを出しています。

- ①親や教師などへの過度な反抗や無断欠席などが現れる。
- ②たばこを常用したり、酒を飲んだりする。
- ③態度や表情が、明るくなったり暗くなったりする。
- ④服装が乱れたり言葉遣いが乱暴になる。
- ⑤小遣いの使い方が激しくなり、食欲が不自然になくなる。
- ⑥家庭でのコミュニケーションを図ろうとしない。

#### ●薬物乱用を防ぐには、家庭の環境が大切です。

- ①家族全員が薬物乱用に対するはっきりした反対の態度を持っている。
- ②家庭における人間関係が良好である。
- ③親自身が模範となり、また他の親たちとも協力している。
- ④子供が仲間から圧力を受けても、親が支えてあげられる。
- ⑤家庭内のルールを決め、守らせている。

### 早いほうがいい、すぐ相談しよう !!

#### ☞薬物乱用についての相談は☞

##### 〈薬物相談〉

東京都福祉保健局健康安全部薬物課

●麻薬対策担当 電話03-5320-4505

●危険ドラッグ対策担当 電話03-5320-4515

E-mail S0000607@section.metro.tokyo.jp

「今こそストップ！薬物乱用」

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenkou\\_anzen/stop/index.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenkou_anzen/stop/index.html)

「みんなで知ろう危険ドラッグ」

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no\\_drugs/](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no_drugs/)

##### 〈薬物相談・少年相談・少年環境相談・その他〉

警視庁総合相談センター

電話03-3501-0110

※相談の内容により、専門の係員が対応します。

##### 〈医療相談〉

東京都立中部総合精神保健福祉センター

電話03-3302-7711（相談）

東京都立精神保健福祉センター

電話03-3834-4102（相談）

東京都立多摩総合精神保健福祉センター

電話042-371-5560（相談）

※リーフレット作成に当たり、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部の協力を得ました。

平成28年4月発行編集

発行者 公益社団法人東京薬事協会 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-4-18 昭和薬業ビル2F

電話03-3279-1300 E-mail kusuri@yakujikyo.or.jp URL <http://www.yakujikyo.or.jp>

# 今こそストップ！ 薬物乱用

ちょっとだけなら…



薬物乱用は、心と体をボロボロにするだけでなく、家族や友人を巻き込み、あなたの大切な人生を台無しにしてしまいます。

「私はだいじょうぶ……」、「一度だけなら……」、「ちょっとだけなら……」といった安易な考えは危険です。

一人ひとりが薬物乱用の本当の恐ろしさを正しく理解し、絶対に麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物に手を出さないようにしなければなりません。

東京都・東京都薬物乱用対策推進本部  
東京都薬物乱用防止推進協議会

公益社団法人 東京薬事協会